

南葛飾高等学校令和5年度 教科情報 科目 情報 I 年間授業計画

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組～6組

教科担当者：(1組：田代) (2組：田代) (3組：田代) (4組：田代) (5組：田代) (6組：田代)

使用教科書：(新編 情報 I 東京書籍)

使用教材：(新編 情報 I 資料ノート 教科書完全準拠)

	指導内容	具体的な指導目標	家庭で学習すること	評価の観点・方法	配当 時数
			学校で学習すること		
4月	情報で問題を解決する	情報とメディア 情報モラル	資料ノートを進める ～p7 校内ランを通じて課題を進める	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。[知] ・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解できる。[知] ・ブレインストーミング、KJ法の手法を身につけている。[知]	4
5月	情報で問題を解決する	個人情報の流出 傷つかない傷つけないために	資料ノートを進める ～p10 講義を聞き、メモを取り学習する。	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。[知] ・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解できる。[知] ・ブレインストーミング、KJ法の手法を身につけている。[知]	6
6月	著作権[p.18] (や)学校の授業での著作物の扱い	・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。	資料ノートを進める 講義を聞き、メモを取り学習する。	・著作権の内容を理解できる。[知] ・正しい引用で表現できる。[思] ・学校で利用できる著作物を判断できる。[思]	8
7月	情報技術の発展[p.20] (や)電子マネーと現金の比較 情報化と私たちの生活の変化[p.22] よりよい情報社会へ[p.24]	・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。 ・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。	資料ノートを進める 講義を聞き、メモを取り学習する。	・情報技術による社会・生活の変化が理解できる。[知] ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解できる。[知]	8
8月	情報を伝える	NIE活用 活動を通して考えた事を相手に伝えるために、様々な工夫が必要です。 未来に向けて提案する力をつけていきたい。	ノート作り、文化祭作品として仕上げる 次学期のプレゼンに向けて構想を練る	・著作権の内容を理解できる。[知] ・正しい引用で表現できる。[思] ・学校で利用できる著作物を判断できる。[思]	
9月	コミュニケーション手段の変化[p.34] (や)スマートフォンがない時代の生活	・メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 ・メディアの特性について学習する。 ・近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解する。	資料ノートを進める 構想を形に表し、どのソフトを使って表現するかを研究する。	・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解できる。[知] ・ネットコミュニケーションの特性を理解できる。[知]	8

	指導内容	具体的な指導目標	家庭で学習すること	評価の観点、方法	配当
10月	情報デザイン[p. 48] (や)学校Webサイトの階層構造の調査 実49 図解表現[p. 126]	情報デザイン ユニバーサルデザイン 情報デザインの流れ	資料ノートを進める マルチメディアとして利点を理解する	・情報デザインの目的を理解できる。[知] ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。[知] ・情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。[思]	6
11月	ユニバーサルデザイン[p. 50] (や)身の回りの機器のユーザインタフェースの改善	・ユニバーサルデザインについて学習する。 ・ユーザインタフェースについて学習する。	資料ノートを進める プレゼンテーション発表に向けて、台本作成とプレゼンテーション作品作りを行う。	・ユニバーサルデザインについて理解できる。[知] ・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。[知] ・ユーザインタフェースの問題点を考えることができる。[思]	8
12月	情報デザインの流れ[p. 52] (や)ユーザを地域の高齢者と想定したとき、どのような分析ができるか考える	シミュレーションの活用	資料ノートを進める 発表体験、相互評価 ブランドウッシー、振り返り	・情報デザインのプロセスを理解できる。[知] ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。[知] ・想定したユーザの考えや行動を分析できる。[思]	6
1月	発展的なプログラム1[p. 74] (問題)7で割った余りが3となる数の表示 気まぐれAI[p. 132] 28 発展的なプログラム2[p. 76] (問題)おみくじゲーム	・プログラムで制御構造を組み合わせる方法を学習する。	資料ノートを進める 発表体験、相互評価 ブランドウッシー、振り返り	・制御構造を組み合わせるプログラムを作成できる。[知] ・関数の意味と利用方法を理解できる。[知] ・デバッグを行い、プログラムを改善しようとしている。[主]	6
2月	ネットワークとインターネット[p. 90] (や)インターネットの今後の利用	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LANとWANの違いを学習する。	資料ノートを進める 発表体験、相互評価 ブランドウッシー、振り返り	・インターネットとはどのようなものか、理解できる。[知] ・LANとWANの違いを理解できる。[知]	6
3月	36 データの形式[p. 100] (や)身近にあるデータの質的データ、量的データおよび各尺度の判断	・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。	資料ノートを進める 発表体験、相互評価 ブランドウッシー、振り返り	・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。[知]	4